



エンタープライズ事業

顧客企業のクラウド利用を含む
ICT 基盤全体を整備・最適化することで、
競争力強化に貢献しています

主なニーズ

- クラウドシステム
- セキュリティ対策
- 働き方改革



通信事業者事業

法人事業の支援に向けてクラウド、
セキュリティなどの基盤構築を通じた
共創ビジネスを展開しています

主なニーズ

- サービス基盤
- 法人向けビジネス

ネットワークが提供する価値

世界最高レベルのネットワークの提供を通じて
「豊かな未来」を創造します



パブリック事業

公共機関向けに、サービス向上を
実現するICT基盤の整備や
セキュリティ強化を支援しています

主なニーズ

- クラウドシステム
- セキュリティ対策
- キャンパスネットワーク



パートナー事業

情報システムを開発する
ICT企業への商材提供を通じて
市場拡大に貢献しています

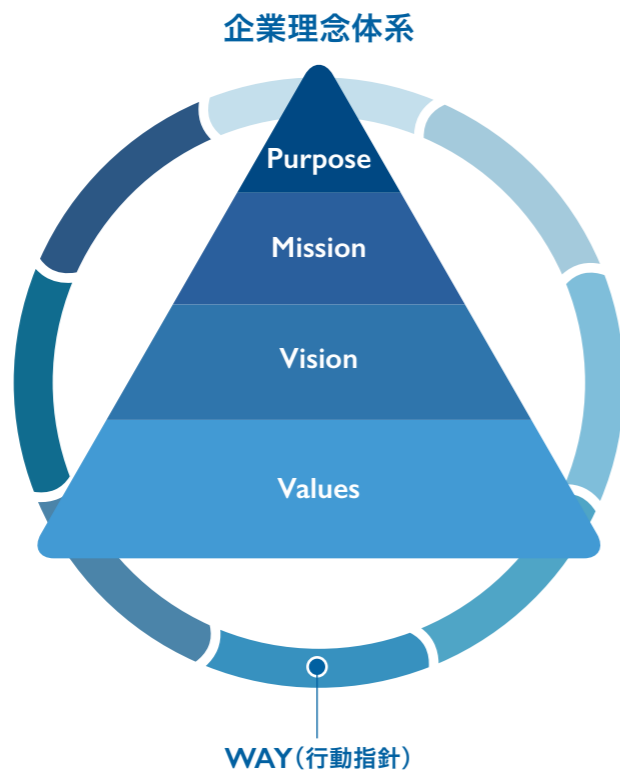
主なニーズ

- ネットワーク
- 最先端ICT商材



Purpose 志 大義

人とネットワークの持つ可能性を解き放ち、 伝統と革新で豊かな未来を創る



Mission 使命

我々は、一人一人が卓越した専門性と高い倫理観を持つプロフェッショナルであり、社会とお客様の課題解決に貢献する

Vision 目標 Goals

- ネットワークのリーディングカンパニーとしての高い誇りを持つ
- ネットワンならではの付加価値を創出し、継続した成長を実現する
- 絶え間ない自己研鑽で心と技術を鍛える精鋭集団であり続ける
- 幅広いステークホルダーへの責任を果たすため、適切な収益構造を維持する

目次

1. ネットワンシステムズについて

ネットワンが提供する価値	1
企業理念・目次	3
社会課題に応えてきた価値創造のあゆみ	5
提供価値と競争優位性の進化	7
ネットワークの可能性と事業領域	9
価値創造を実現する資本	11
価値創造プロセス	13
ネットワンが目指す未来	15

2. 価値創造戦略

CEOメッセージ	17
CEO・取締役会議長対談	21
COOメッセージ	23
中期経営計画(2022-2024年度)の進捗	25
CFOメッセージ	27
財務ハイライト	29
非財務ハイライト	30

3. 価値創造の実践

セグメント別概況	31
エンタープライズ事業	33
Focus: 新しい社会のカタチに対応した 次世代のセキュリティを実現	35
通信事業者事業	37
パブリック事業	39
Focus: 「ガバメントクラウド」と自治体をつないで、 行政サービスのDX化に貢献	41
パートナー事業	43

4. 成長を支える基盤

CTO・CSDO対談	45
サステナビリティマネジメント	49
社会	51
CHROメッセージ	55
環境	57
ガバナンス	59
役員一覧	65

財務・企業情報

連結財務データ	67
用語集	69
会社情報	70

編集方針

「net one report」はネットワングループのすべてのステークホルダーの皆様にPurposeの実現に向けた価値創造や成長戦略、サステナビリティ経営の考え方や取り組みについてお伝えすることを目的として発行しています。2024年度は「ネットワングループの創出価値と成長戦略を分かりやすく伝える」をテーマに、攻めの経営に向けた取り組みをご紹介します。また、別冊の「Sustainability report」(2024年10月末発行)は、非財務の特集を組むとともにESGパフォーマンスデータを掲載しています。本レポートに掲載されている2014年度から2019年度までの決算数値には、2020年12月に公表した過年度決算訂正の内容が反映されています。



表紙デザインについて

当社が、ネットワーク技術で縦横無尽に可能性を切り拓いていく姿を、コーポレートロゴの特徴である丸みのある曲線で表現しました。「net one report」はコーポレートカラーであるブルー、「Sustainability report」はマテリアリティの4色を用いています。表紙を並べると曲線がつながり、2冊セットで「統合報告」として完成することをデザインで示しています。

「Sustainability report 2024」

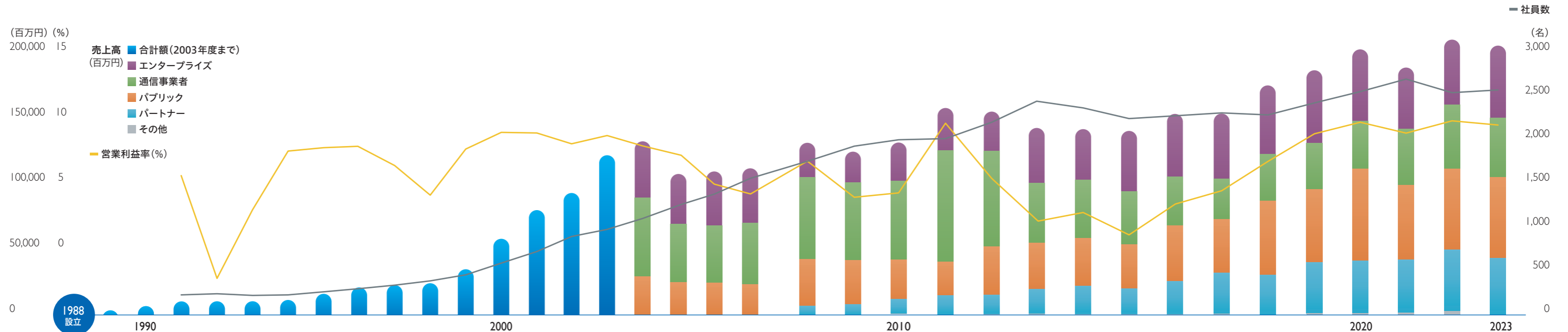
サステナビリティ委員会 委員長メッセージ	1
4つのマテリアリティと2023年度の活動状況・KPI	3
特集1「次世代を担う人財の育成」	5
特集2「脱炭素社会への貢献」のために	9
特集3「持続可能な成長を実現する ガバナンス体制の維持強化」のために	11
ESGデータ集 2023	15

※ 2024年10月末発行

<https://www.netone.co.jp/ir/library/integrated/>

社会課題に答えてきた価値創造のあゆみ

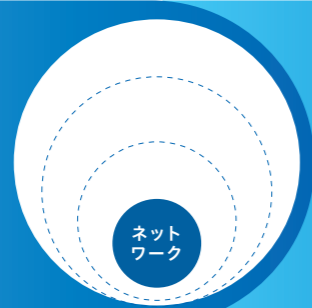
インターネットの普及に先駆けて経験を蓄積。
 高度なネットワーク技術を強みにクラウド・セキュリティ・IoTなどのICT基盤全体に事業領域を拡大しています。



時代とニーズの変化

- 1988~1994: 情報システムの利用拡大、拠点間の情報共有
- 1995~2007: インターネットの普及、通信速度の向上
- 2008~2015: 仮想化とクラウドの浸透、肥大化したICTシステムの効率化、働き方の変革
- 2016~2023: デジタル化の加速、DXや事業とICTの融合、セキュリティ対策とデータの利活用

1988~
 さまざまな技術の
 垣根を越えて
 ネットワークをつなぐ



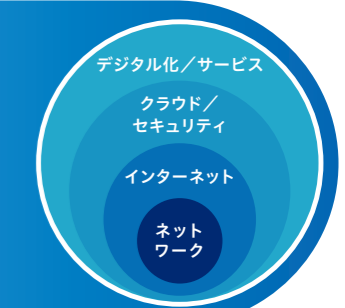
1995~
 インターネットの
 普及とともに
 事業領域を拡大



2008~
 技術革新をてこに
 提供するサービスを
 高付加価値化



2016~
 ネットワーク視点で
 ICT基盤を支える
 事業モデルへ変革



日本におけるインターネットの黎明期、大手民間企業、研究所へネットワーク機器の仕入・販売を開始。独自仕様のクローズドなシステム間の通信に向け、安定稼働を実現する保守体制を築きました。

インターネットの活用に向けた導入支援とシステム構築で通信事業者・官公庁向けへと事業領域を拡大。高度なネットワーク技術を発揮して、安全な接続とシステムの効率的な集約という顧客ニーズに応えました。

働き方改革や仮想化技術が登場。自社で先駆的に導入して得た知見を生かして、デジタル化された音声・映像や複雑なシステムを最適に制御・利活用する価値提供モデルを確立しました。

DXやクラウドの活用が進むマルチクラウド時代が到来。事業とICTの融合、セキュリティ対策、大規模システムの統合運用、戦略的なICT利活用といった課題を解決する提案を続けています。

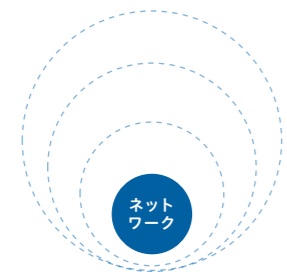
net one TOPICS ネットワントピックス

<p>1990</p> <p>独自の検査と品質管理から保守部材の提供までを担う品質管理センターを開設</p>	<p>1999</p> <p>米国Cisco Systems社認定、ゴールドパートナー資格を取得</p>	<p>2000</p> <p>マルチベンダーで構成されたシステムの評価・事前検証を行うテクニカルセンターを開設</p>	<p>2001</p> <p>東京証券取引所市場第一部に株式を上場</p>	<p>2007</p> <p>24時間365日体制でリモート監視と障害対応にあたるエキスパートオペレーションセンターを開設</p>	<p>2016</p> <p>24時間365日体制でサイバー攻撃を即座に検知・対処するセキュリティオペレーションセンターを開設</p>	<p>2020</p> <p>マルチクラウドの共同検証環境でお客様のDXを加速する「Lab as a Service」を開設</p>	<p>2023</p> <p>多様なコラボレーションでイノベーションを生み出すイノベーションセンター「netone valley」を開設</p>
--	--	---	---------------------------------------	---	---	--	--

提供価値と競争優位性の進化

ICTの利活用に通じた「目利き力」を駆使して真のイノベーションを追求。
 技術の境界を越え、人と情報、人と人を結ぶことで、お客様と共に社会課題の解決に挑み続けます。

1988～ ネットワークを 「つなぐ」



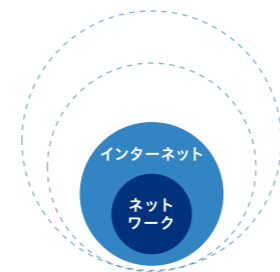
ネットワーク構築で リーディングポジションを確立

日本でのインターネット普及に向けて、技術啓発と、相互接続を可能にする製品提案を海外ベンダーと推進。以後、信頼性と価値創出力を高め続け、今日あるネットワークとクラウドコンピューティングを統合する技術と経験へとつなげてきました。

先進技術で安定した接続を保証

技術革新を見極めながら先進技術を利用・応用し、時代に適したネットワークシステムを提案。テクニカルセンターで顧客環境に近いシステム構成の機能要件を検証し、障害対応を含む動作保証をすることで安心を提供してきました。

1995～ 人と情報を 「むすぶ」



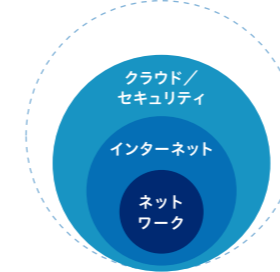
リーディングベンダーとの 技術補完や共同事業を展開

インターネットが社会の基盤として定着することを見越し、ネットワークを活用したクラウドシステムへの移行に注力。日本市場に向けた製品やサービスの開発をICTにおける世界のリーディングベンダーと共に進め、戦略的パートナーシップを強化してきました。

独自のアーキテクチャーを構築

ソフトウェアベースのハイブリッドクラウドを提唱し、ユーザー視点に立ったシステムの構造変革を自社で実践。その体験を公開するほか、独自のクラウドやセキュリティサービス、サブスクリプション型サービスを開発するなど、技術を自在に操る存在に進化しました。

2008～ ビジネス・働き方が 「かわる」



サービスを進化させ お客様の戦略パートナーへ

蓄積した技術的知見をもとにインテグレーター型の事業モデルへ変革。商材販売に高度な運用やコンサルティングを加えて、インフラ全般を包括的に支援。システムの共同利用や機能提供によって共創関係を築き、さらなる付加価値を創出しています。

DXをベンダーと共に推進

マルチクラウド時代をリードする総合的なサービスモデルを追求。システムを障壁としないDXと、ライフサイクルサービスを組み合わせ、お客様が求めるシステムとその安定稼働を実現します。

2016～ サービスを通じて 豊かな未来を創る



継続的な付加価値を提供する プラットフォームを構築

お客様の事業成長を支える戦略パートナーとして、カスタマーサクセスを追求し続けます。お客様とベンダー、当社をつなぐデジタル基盤を構築し、ネットワークの高度化・複雑化に応じたシステムの安定性向上と最適化を実現します。

netone valleyでの協業を通じて イノベーションを創出

人と人とのつながりが生み出すイノベーションで未来を創造します。お客様やパートナーと共に、先進のデジタル技術で社会課題を解決するビジネスをつくりあげていけるよう、当社の事業活動全体が「共創・共生プラットフォーム」になることを目指します。

4つの 強み P.11

プロフェッショナル人財

広がる顧客基盤

パートナーとの共創力

マルチベンダー連携

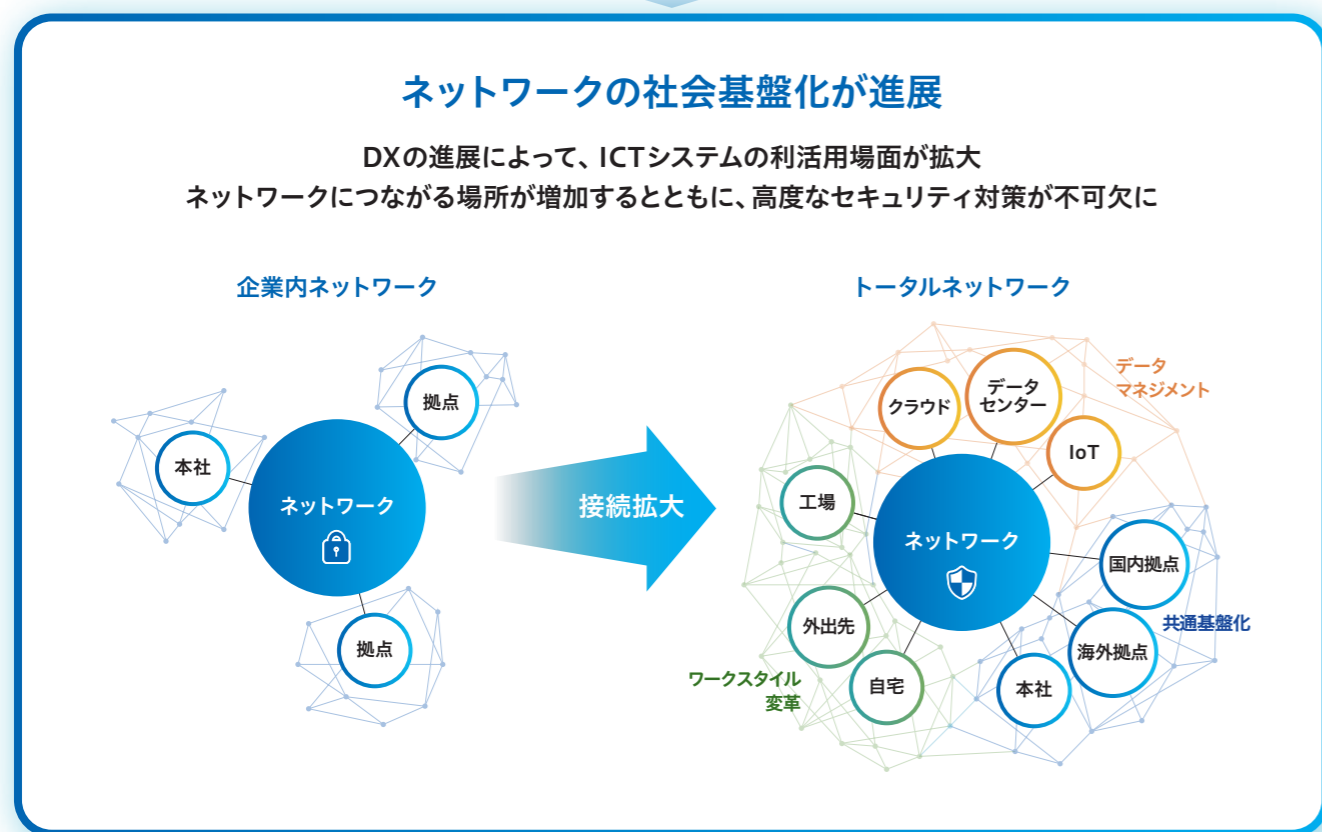
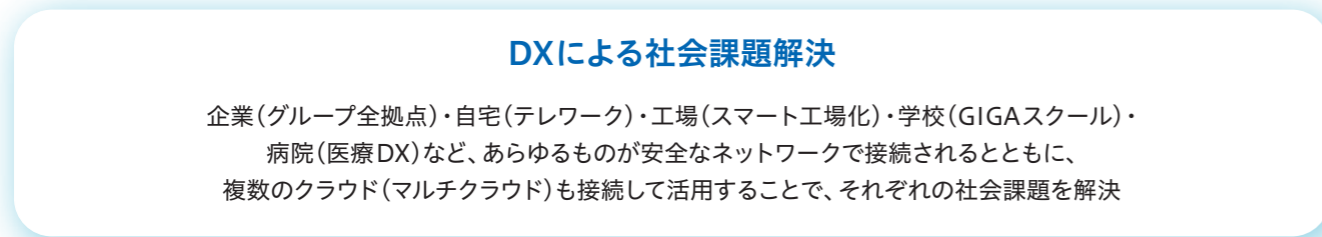
ネットワークの可能性と事業領域

拡大し高度化するネットワーク

DXの進展とともに、多くのモノがネットワークにつながるスマート社会が形成されつつあります。オフィスやデータセンター、自宅などに加え、クラウドやInternet of Things (IoT:モノのインターネット)などにも接続されるネットワークの

需要は加速度的に拡大しています。さらに、サイバーセキュリティ対策のような新たな需要への対応も進んでいます。このようにICT基盤としてのネットワークは社会に欠かせない存在として拡大し高度化し続けています。

社会の変化とネットワークの発展

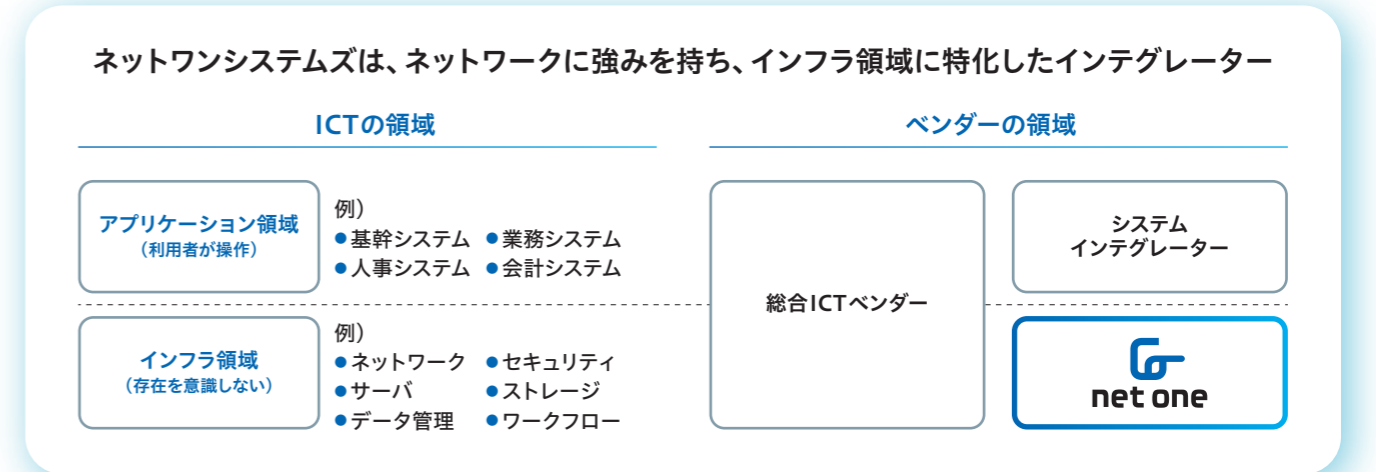


ICT業界の構造と当社の事業領域

ICT業界の構造は、クラウドの登場によって「アプリケーション領域」とアプリケーションを動かす「インフラ領域」に二分されました。当社はインフラ領域に特化した技術でデジタル社会の基盤整備に注力する数少ない企業です。

なお、ICT業界のベンダーとして、システムインテグレーターは主にアプリケーション領域を担当しており、アプリケーション領域とインフラ領域の双方を手掛ける総合ICTベンダーも存在します。

ICT業界の構造

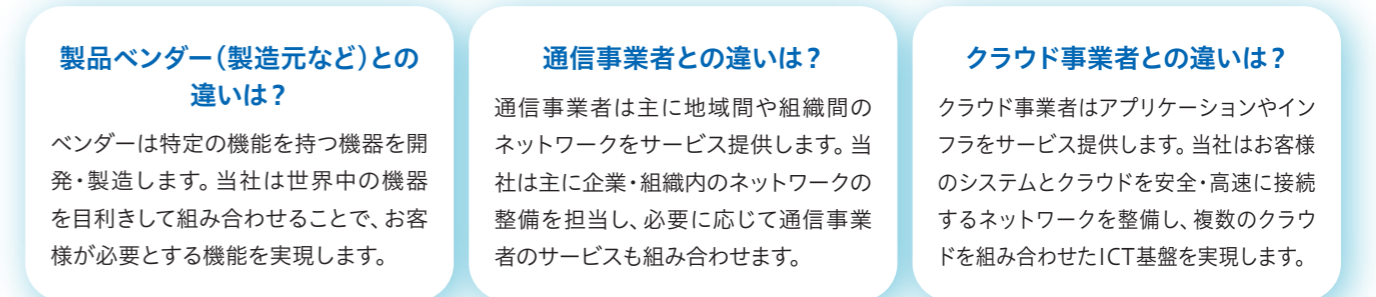


他のインフラ事業者とは異なる独自のポジション

当社の最大の特徴は、中立的な立場で世界最高水準のネットワーク技術を独自に評価・検証し、確立してきたことです。この技術を核として、世界の最先端技術の動向を見極めた上

で、お客様の要望に適したICT基盤の全体像をデザインし、その要望を実現する最適な機器やサービスを中立的な立場から選定して組み合わせ、ICT基盤全般を整備しています。

ネットワークシステムズのポジション



net one **最先端・高品質・安全なICT基盤を**
日本を代表する企業や大規模な公共機関に提供

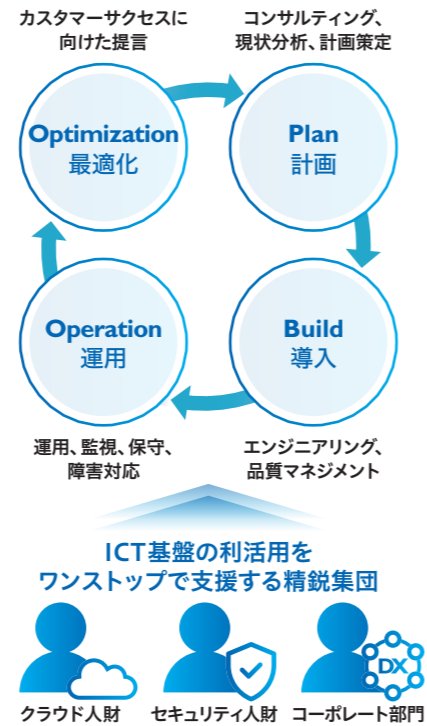
価値創造を実現する資本

価値創造に向けて強みを磨くには、人財や知見、顧客・パートナーとの信頼関係など、継続的な資本の強化が不可欠です。当社グループは重要資本の強化を経営戦略に組み込み、企業価値のさらなる向上と持続的な成長を目指します。

人的資本

ライフサイクルサービスを実現するプロフェッショナル人財

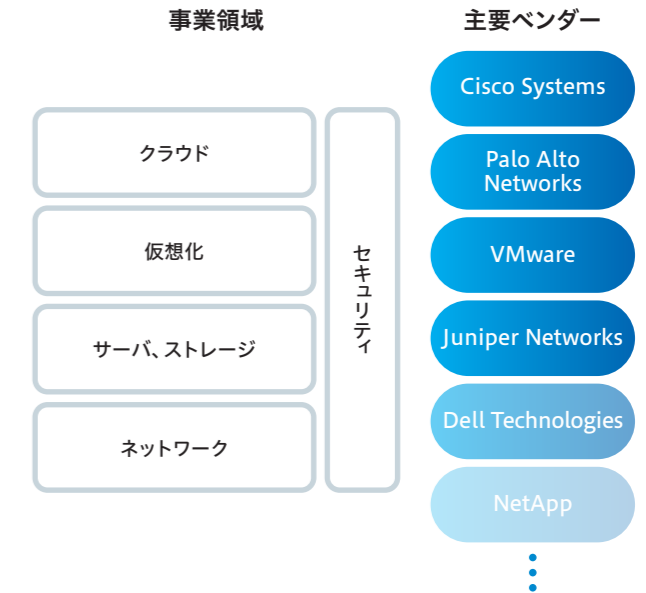
当社グループは、高度な知識と技術を持つプロフェッショナル人財の集団です。最先端ネットワークをはじめとする技術力とコンサルティング力で、クラウド時代に適したICTの利活用と安定稼働を実現。Plan(計画)、Build(導入)、Operation(運用)、Optimization(最適化)からなるICTライフサイクルをワンストップで支援することで、お客様のビジネスを成功へと導きます。個々の人財が能力を十分に発揮し、発信力を高め合い、チームとして完成度の高い仕事を追求することで、社会へ価値を提供し、当社の成長にもつなげていきます。



知的資本

マルチベンダー連携を可能にする高い知見

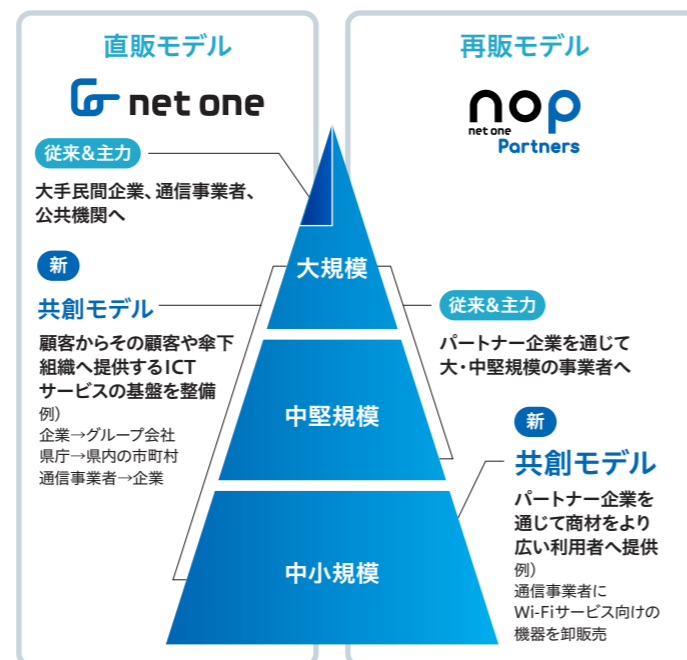
当社グループの事業領域はネットワーク全般にわたります。世界最高水準のネットワーク技術に加え、世界の有力ベンダーが提供する最先端のハードウェア、ソフトウェア、クラウドサービス、AIなどのインフラ製品を評価する目利き力が当社グループにはあります。お客様の事業の将来を見据えたICT基盤のあるべき全体像を描き、複数のベンダーや製品を組み合わせる独自の手法で、1社単独ではできない機能を実現します。障害対策を含めた細やかな提案でお客様の信頼にお応えします。



社会関係資本

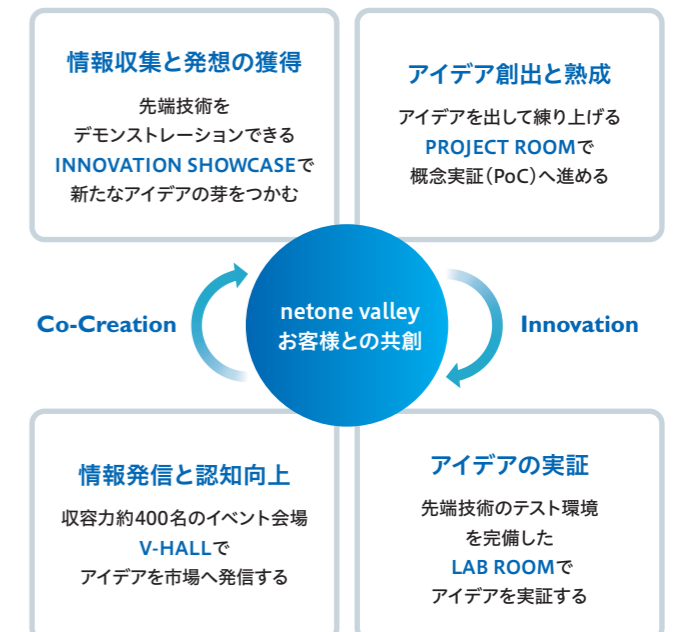
広がる顧客基盤

当社グループの主要顧客は国内の大手民間企業・公共機関を中心に、売上上位100社で当社売上高の約8割を占めています。販路の約8割を構成する直販モデルではDXに積極的な企業や行政機関に対してICTを利活用する新たな仕組みづくりを提案しています。残る約2割は当社連結子会社のネットワンパートナーズからパートナー経由で各市場にICTサービスや商材を卸し売りする再販モデルです。パートナー向けに直販モデルと同様の機器と技術サポートを提供しています。さらに、新たなアプローチとしてICT利活用を軸とした共創モデルを展開。中堅・中小規模へと顧客基盤の裾野を広げ、収益の安定・拡大につなげます。



パートナーとの共創力

当社グループは特定のメーカーや資本系列にとらわれない独立系企業です。世界中から最先端の商材を発掘し、マルチベンダーによる最良のシステムに組み上げ、お客様にとって最適な機能やサービスを実現できます。同時に、多様なパートナーとの共創力も有しています。設計思想と先端技術の双方から社会のDXに貢献する共創を進めることで、デジタル時代のアドバイザーを目指します。netone valleyに設けたワークプレイスを起点に、お客様やベンダーと共にイノベーションを加速。これまでにない技術の組み合わせを考案し、新たな価値を創出し続けます。



価値創造プロセス

財務・非財務の資本を活用しながら、高品質なICT環境の提供と顧客支援の拡充を図り、経済と社会両面の価値を創出することで、Purposeの実現を目指します。

※実績は2023年度の数値です

事業環境

- 社会**
 - 少子高齢化
 - 地域格差
 - 脱炭素社会
 - サステナブル
 - 地方創生
- 市場**
 - モノからコトへシフト
 - 2025年の崖
 - ICT技術の革新的進歩
- 顧客**
 - デジタル化による企業変革
 - 加速度的なデジタル化

INPUTS

財務・非財務資本

人的資本

社員数.....2,579名
 セキュリティ人材
 CISSP取得者.....30名
 安全確保支援士.....60名
 クラウド人材
 フロント部門.....516名
 DX人材
 コーポレート部門.....42名

知的資本

NET ONE BLOG...94件投稿
 LaaS*1技術検証3,379件
*1 Lab as a Service: DXに向けたマルチクラウド環境の検証施設

社会関係資本

Innovation Showcase.....280社施設利用
 戦略ビジネスパートナー.....115社

財務資本

ROE.....18.0%
 FCF*2.....193億円
*2 FCF=営業CF+投資CF

価値創造活動

最先端かつ高品質のネットワークインフラを、国の基幹となる産業や行政の領域に提供

プロフェッショナル人材

広がる顧客基盤

4つの強み

パートナーとの共創力

マルチベンダー連携

クラウド

仮想化

サーバ、ストレージ

ネットワーク

セキュリティ

あらゆるICT基盤のニーズに対応

新たな価値を創造する3つのサービスモデル

DX戦略
コンサルティングサービス

マネージドサービス

自社クラウドサービス

継続的な顧客支援の仕組み

最適化

運用

保守

導入

ライフサイクルサービス

コンサルティング

提案

設計/構築

プロジェクトマネジメント

中期経営計画 [2022-2024年度] 成長戦略 / 経営基盤強化 / 社会的責任

OUTPUTS

顧客数
1,560社
(受注先実績)

顧客満足度
83.4%
(総合満足度)

- エンタープライズ事業 受注高 **553億円**
- 通信事業者事業 受注高 **445億円**
- パブリック事業 受注高 **602億円**
- パートナー事業 受注高 **412億円**

創出価値

経済価値

売上と利益の伸長

+

社会価値

- デジタル化投資
- 産業の活性化
- ビジネスの変革
- 行政の効率化

次世代人材の育成 ICT利活用の向上

+

社会

- 地域格差是正
- 地方創生
- サステナブル社会の実現
- ICT技術・人材増加
- デジタル経済の加速

資本強化に 向けた再投資

マテリアリティ

安心・安全な高度情報社会の実現

プロフェッショナル人材の活躍

脱炭素社会への貢献

持続可能な成長を実現するガバナンス体制の維持強化

Purpose [志 大義] 人とネットワークの持つ 可能性を解き放ち、伝統と革新で豊かな未来を創る

Mission [使命] Vision [目標 Goals] Values [価値観]

WAY [行動指針] グループ全社員の考え方や判断の基本



ネットワークが目指す未来

Purpose

人とネットワークの
持つ可能性を
解き放ち、
伝統と革新で
豊かな未来を創る

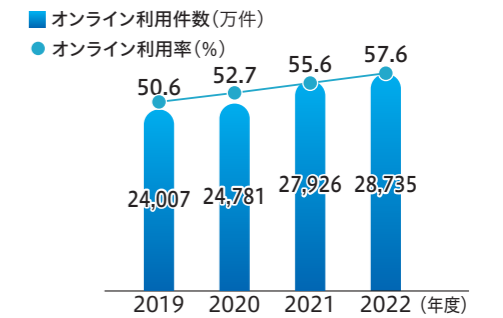
「新たな社会」
Society5.0
を実現



デジタルガバメント

行政業務のオンライン化が加速。
ネットワークの力で、
迅速でムダのない
電子政府・自治体を実現

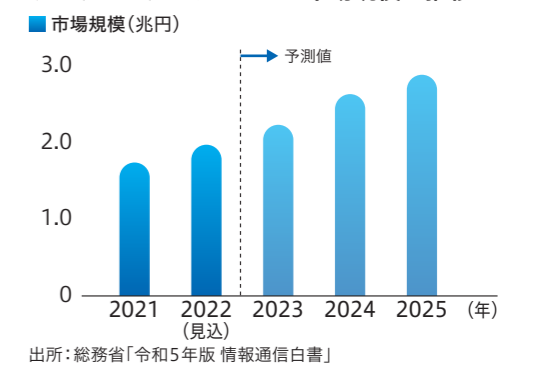
行政手続きにおけるオンライン利用状況



GX

データセンター増加に伴う
消費電力量拡大を想定。
グリーンソリューションで
脱炭素社会に貢献

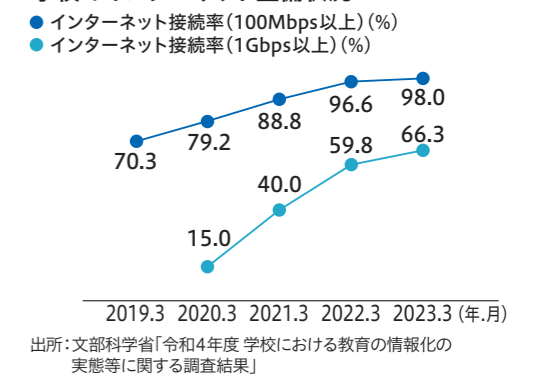
データセンターサービスの市場規模の推移



GIGAスクール構想

教育現場の同時接続に耐えうる
安全な高速無線LANが伸長。
豊かな学びを支える
ICT環境を構築

学校のインターネット整備状況



スマート マニュファクチャリング

製造現場におけるIT投資が増加。
DXによる品質と
生産性向上の両輪で
技能継承と人手不足を解消

製造業のソフトウェア投資額推移

